

ANNOUNCEMENTS

本欄では学会、研究会、セミナー等のイベント情報および人材募集・研究助成等の案内を掲載しております。告知の欄としてご利用いただければ幸いです。掲載は無料です。

なお、掲載に際しましては下記の制限がありますのでご了承ください。

- ①掲載希望号の発行日 1 カ月前までに、E-mail、FAX、郵便でお送りください。E-mail でテキストデータをお送りいただければ、優先的に掲載いたします。
- ②掲載時の体裁につきましてはご一任ください。編集を加えることがあります。校正はありません。
- ③掲載の可否につきましては確約できません。現在 90%程度を掲載しています。
- ④掲載時期は希望時期を明記いただければ、尊重いたしますが、確約するものではありません。
- ⑤掲載の可否、時期についてのご連絡はいたしません。電話によるお問合せもご遠慮いただければ幸いです。問合せは下記 E-mail アドレスまでお願いいたします。
- ⑥掲載誌はお送りしておりません。

【送付方法】：お原稿は下記 E-mail アドレスまでテキストデータにてお送りください。随時受付しております。

【送付・問合せ先】：週刊「医学のあゆみ」編集部「アナウンスメント」係

TEL：03-5395-7622/FAX：03-5395-7624 **E-mail：jcem@ishiyaku.co.jp**

events

※やむを得ず開催状況が変更となる場合もございます。
最新情報は各イベントの主催へお問い合わせください。

第26回腸内細菌学会学術集会 (現地開催予定)

メインテーマ：次世代へ加速する腸内細菌研究
～マイクロバイオームの生理機能解明とその制御～

大会長：岡田信彦(北里大学)

会 期：2022 年 7 月 7 日(木)・8 日(金)

会 場：タワーホール船堀

東京都江戸川区船堀 4-1-1

※当日参加は、会員 9,000 円、一般 13,000 円、
学生 2,000 円

問合せ先：公益財団法人腸内細菌学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12

TEL：03-5319-2669, FAX：03-5978-4068

E-mail：jbf@ipcc-pub.co.jp

URL：https://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml

予定プログラム：

【7 月 7 日(木)】

9：55～10：00

開会の挨拶 岡田信彦(北里大学)

10：00～12：30

一般演題 A 口頭発表(若手枠)※優秀発表賞選
考対象演題

一般演題 B 口頭発表(一般枠)

13：30～14：30

海外特別講演(大ホール)

Andreas J. Baumler(University of California
Davis)

“The Microbiota and Gut Homeostasis”

14：30～15：20

特別講演(大ホール)

植松 智(大阪公立大学/東京大学医科学研究所)

「Dysbiosis 関連疾患の新規治療法の開発」

15：40～16：30

研究奨励賞授賞式および受賞講演

16：45～17：45

一般演題 A ポスター発表(1F 展示ホール)

18：00～19：30

情報交換会(2F 福寿・桃源)

13:30~15:30

市民公開講座『くすりと腸内細菌』(小ホール・事前申込制)

・小林 拓(北里研究所病院)

「炎症性腸疾患の最新知見—くすり・食事・腸内細菌—」

・角田卓也(昭和大学)

「腸内細菌とがん免疫療法—食物繊維発酵腸内細菌が治療効果を決める?—」

【7月8日(金)】

9:30~10:20

一般演題 B 口頭発表(一般枠)

10:20~12:50

シンポジウム 1『マイクロバイオームの生理機能』

・松本光晴(協同乳業株式会社研究所)

「腸内マイクロバイオーム由来ポリアミンの生理機能」

・小川 順(京都大学)

「マイクロバイオームの代謝機能を介した食品成分の潜在生理機能発現」

・新 幸二(慶應義塾大学)

「長寿に関与する腸内細菌の探索」

・笹部潤平(慶應義塾大学)

「アミノ酸のキラリティによる免疫調節機構」

・佐々木伸雄(群馬大学生体調節研究所)

「オルガノイドが紐解く消化管の複雑系」

13:50~16:20

シンポジウム 2『マイクロバイオームの制御と健康』

・金 倫基(慶應義塾大学)

「マイクロバイオームモジュレーターによる疾患制御」

・新藏礼子(東京大学)

「リコンビナント IgA 抗体による Dysbiosis の治療」

・大谷直子(大阪公立大学)

「腸内細菌叢と肝がん」

・大野欽司(名古屋大学)

「パーキンソン病の腸管神経叢起源説と腸内細菌叢の関与」

・石川 大(順天堂大学)

「腸内細菌叢移植の現状と展開」

16:20~16:30

閉会の辞

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 第34回助成研究発表会

日 時: 2022 年 7 月 26 日(火)9:30~17:00

会 場: 都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1

参加料: 無料

参加方法: FAX・E-mail 等で事前に申込。※新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンラインでの開催となる場合があります。詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください(開催1カ月前に掲載)。

問合せ先: 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

TEL: 03-3497-5711, FAX: 03-3497-5712

E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

URL: <https://www.saltscience.or.jp>

千里ライフサイエンスセミナー T2

「感覚器研究・マルチセンシングシステム研究の最前線」

日 時: 2022 年 7 月 28 日(木)10:30~16:20(WEB 配信併用)

会 場: 千里ライフサイエンスセンタービル 5F

山村雄一記念ライフホール

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

コーディネーター:

西田幸二(大阪大学)

日比野 浩(大阪大学)

開催趣旨: 生体内外の情報を受容する各種感覚器と全身の臓器に備わっている生体感覚システム、および末梢神経ネットワーク、中枢神経(脳)は、解剖学および機能的に連関しており、システムとして協調的に作用することで、生体の機能維持に重要な役割を果たしています。一方、加齢をはじめとする内的・外的ストレス等によるこの「マルチセンシングシステム」の機能低下や障害は、各々の機能障害(例えば視覚障害や聴覚障害など)に加えて、「システム」の障害として、生活習慣病や認知症などの発症・進展に関係していることが明らかになってきました。本セミナーでは、感覚器ならびにマルチセンシングシステムについての研究の最前線について、最新の知見を紹介します。

プログラム(演題および演者):

10:30~10:35 挨拶(千里ライフサイエンス振興財団理事長)

10:35~10:50 はじめに
西田幸二(大阪大学)
10:50~11:30「温度感受性 TRP チャネルの構造と機能—2021 年ノーベル生理学医学賞によせて—」
富永真琴(生理学研究所)
11:30~12:10「チャネルシナプス：生体内外の化学感覚を担う上皮性シナプス」
樽野陽幸(京都府立医科大学)
13:20~14:00「個体間コミュニケーションに関わる匂い・フェロモン」
東原和成(東京大学)
14:00~14:40「微小な音を受容する内耳蝸牛の仕組みと病態生理」
日比野 浩(大阪大学)
14:50~15:30「多感覚統合による“世界観”の形成」
入来篤史(理化学研究所)
15:30~16:10「眼オルガノイドを用いた発生・再生研究」
西田幸二(大阪大学)
16:10~16:20 おわりに
日比野 浩(大阪大学)

参加費：無料

定 員：120 名(WEB 配信 500 名)，要事前申込。

申込方法：参加希望者は，当財団のホームページの「参加申込・受付フォーム」から 7 月 26 日までにお申込み下さい。定員になり次第締め切ります。

問合せ先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
セミナー T2 事務局
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル 20F
URL：<https://www.senri-life.or.jp>

第33回日本末梢神経学会学術集会

日 時：2022 年 9 月 9 日(金)~10 日(土)

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

会 長：岡野栄之(慶應義塾大学)

テーマ：末梢神経学の新しい展開：基礎から臨床まで

海外招聘講演：Professor Marianne Bronner(California Institute of Technology)

予定プログラム：祖父江逸郎先生・追悼シンポジウム，特別講演，教育講演，特別企画，シンポジウムのほか，産業医学講座，厚生労働省セッション，

ランチョンセミナー，一般演題，症例報告，2022 年度 SW test 講習会等。

問合せ先：第33回日本末梢神経学会学術集会運営事務局
株式会社コングレ内
〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5
オンワードパークビルディング
TEL：03-3510-3701，FAX：03-3510-3702
E-mail：jpn2022@congre.co.jp

ソルト・サイエンス・シンポジウム2022

趣 旨：塩に関する学術，その他の情報普及と啓発

日 時：2022 年 10 月 21 日(金)13:00~17:00

会 場：スクエア荏原・ひらつかホール
〒142-0063 東京都品川区荏原 4-5-28

参加料：無料

参加方法：FAX・E-mail 等で事前に申込。※新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンラインでの開催となる場合があります。詳細については，財団のウェブサイトをご覧ください(開催1か月前に掲載)。

シンポジウムテーマ：「宇宙時代のソルトサイエンス」

講演内容：

1. 「高圧実験から見た地球・惑星内部の塩と氷」
講演者：鍵 裕之(東京大学)
座長：斎藤恭一(千葉大学)
2. 「宇宙における味覚—宇宙食と塩味—」
講演者：朝倉富子(東京大学)
座長：松本美鈴(元大妻女子大学)
3. 「宇宙で，そして地球で健康に生きるために」
講演者：森田啓之(東海学院大学)
座長：菱田 明(浜松医科大学)

問合せ先：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
TEL：03-3497-5711，FAX：03-3497-5712
E-mail：saltscience@saltscience.or.jp
URL：<https://www.saltscience.or.jp>

recruitment

■ 東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野 医局員募集

東北大学加齢医学研究所臨床加齢医学研究分野では、大規模脳画像データベースを用いた脳の発達・加齢、認知症予防に関する最先端の脳科学研究や、東北大学病院加齢・老年病科における認知症関連疾患をはじめとする老年医学の診療および臨床研究を行なっています。一緒に活動していただける意欲ある方を募集しています。

所 属：東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野
着任時期：応相談

応募資格：医師免許取得済み、大学院博士課程入学希望でも可。

応募書類：履歴書等(指定の様式をお送りしますので、下記問い合わせ先までメールにてご連絡ください)

給 与：東北大学職員就業規則および諸規定に準ずる。

業務内容：臨床研究・基礎研究、外来・病棟業務

問い合わせ先：東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野

TEL：022-717-8582

E-mail：nmr_office@grp.tohoku.ac.jp

■ 京都大学がん免疫総合研究センター(CCII) 2023年度大学院奨学生募集〈返済不要〉

2020年4月に設置された京都大学がん免疫総合研究センター(CCII)では、次世代を担うがん免疫学/がん免疫治療学の研究者養成をミッションの一つとしており、この度2023年度以降に入学される大学院生のためのCCII奨学金制度を創設しました。当該大学院生が研究に専念できる環境を提供します。詳細は本センターHPをご確認ください。

年 額：300万円(給付型)

採用人数：若干名

出願資格：①CCIIが募集している分野の修士課程または博士課程に2023年4月入学予定の者、②学業・人物ともに優秀で、指導予定の教員から推薦が得られる者、③日本国籍の者。

問合せ先：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53

メディカルイノベーションセンター5F

京都大学がん免疫総合研究センター(CCII)

URL：<https://www.cci.med.kyoto-u.ac.jp/>

* * *